



2024年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社ワコールホールディングス

代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 矢島 昌明

(コード番号3591 東証プライム市場)

問 合 せ 先 執行役員 経営企画部長 廣岡 勝也

(TEL 075-682-1010)

### 2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ（IFRS）

2024年5月15日に公表した2025年3月期第2四半期（中間期）（2024年4月1日～2024年9月30日）の連結業績予想と本日公表の実績において、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、2025年3月期通期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想につきましても下記のとおり修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）について

(1) 2025年3月期第2四半期（中間期）（2024年4月1日～2024年9月30日）の連結業績予想と実績の差異（国際会計基準）

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前 中間利益	親会社の所有者 者に帰属する 中間利益	基本的 1株当たり 中間利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	92,400	1,200	2,200	3,300	2,200	39.95
今回実績 (B)	90,167	2,304	11,551	12,815	8,773	159.69
増減額 (B-A)	△ 2,233	1,104	9,351	9,515	6,573	-
増減率 (%)	△ 2.4	92.0	425.0	288.3	298.8	-
(参考) 前中間期実績 (2024年3月期中間期)	95,130	3,816	△ 3,384	△ 2,739	△ 4,404	△ 76.09

#### (2) 差異の理由

売上収益は主要国においてレディスインナーウェア販売の低迷が続いていることから、計画を下回りました。特にワコールインターナショナル（米国）、中国ワコール及びピーチ・ジョンが自社ECや実店舗を中心に計画を下回る結果となりました。事業利益は、(株)ワコールを中心に利益率の高いチャンネルの伸長や売上収益の状況に応じて経費をコントロールしたことから、計画を上回りました。営業利益は既に開示の通り、旧福岡事業所跡地の固定資産売却益の計上が寄与しました。

2. 2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）について

（1）2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想の修正（国際会計基準）

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	183,000	200	2,000	3,800	3,200	58.11
今回修正予想（B）	181,000	△ 2,500	4,800	6,900	4,500	81.91
増減額（B-A）	△ 2,000	△ 2,700	2,800	3,100	1,300	-
増減率（%）	△ 1.1	-	140.0	81.6	40.6	-
（参考）前期実績 （2024年3月期）	187,208	3,510	△ 9,503	△ 8,290	△ 8,632	△151.62

（2）業績予想修正の理由

中間連結会計期間同様、ワコールインターナショナル（米国）、中国ワコール及びピーチジョンを中心に経営環境は引き続き厳しい状況を想定しており、売上収益、事業利益は前回発表した業績予想を下回る見込みです。加えて、ワコールヨーロッパを通じて買収した Bravissimo Group については、売上収益に寄与するものの、当連結会計期間では買収費用や子会社化時の会計処理などの影響により、事業利益を押し下げる見込です。また、営業利益では中国ワコールを中心に子会社の構造改革を計画していることから、それに伴う費用を織り込んでいます。

以上